

平成25年度 第1回 神林地区地域審議会 会議録

1. 開催日時 平成25年7月2日(火)13:30～15:00
2. 開催場所 神林支所 3階第4・5会議室
3. 出席委員 大嶋芳美、坂上孝雄、伊與部眞士、竹内友二、鈴木誠兒
須貝慎一郎、渡辺優子、竹内徹
4. 欠席委員 佐藤巧、横山一巳、遠山千賀子、大矢友子
5. 出席職員 板垣神林支所長、政策推進課；竹内課長補佐、田中副参事
(事務局) 地域振興課；山田室長、木村係長、東主査
6. 傍聴者 なし
7. 会議次第 別紙のとおり
8. 会議経過 別紙のとおり

平成25年度 第1回神林地区地域審議会次第

日 時：平成25年7月2日(火)

午後1時30分～

会 場：神林支所3階第4・5会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 委嘱状交付

4 報 告

- (1) 合併市町村基本計画登録事業の進捗状況について
- (2) 第1次村上市総合計画後期実施計画について

5 議 事

- (1) 神林地区紹介マップについて
- (2) 神林地区地域活性化推進事業について

6 その他

7 閉 会

会議経過

1 開会 (13:30)

事務局； (定刻になったことを告げ開会し、本日の欠席者の報告を行った。会長にあいさつ及び議事の進行をお願いした。)

2 あいさつ

会長； (本日の審議会の手順、報告事項及び議事の内容を説明し、委員へ活発な審議を依頼してあいさつとした。)

3 委嘱状交付

会長； (交代委員への委嘱状交付を告げ、支所長から竹内徹氏に委嘱状の交付を行い、竹内委員が自己紹介を行った。)

4 報告

(1) 合併市町村基本計画登録事業の進捗状況について

(2) 第1次村上市総合計画後期実施計画について

会長； 報告の1番目、合併市町村基本計画登録事業の進捗状況について、事務局から説明をお願いします。

事務局； 資料1により、合併市町村基本計画の進捗状況について説明いたします。

【合併市町村基本計画登録事業の進捗状況について説明】

会長； 関連がありますので、(2) 第1次村上市総合計画後期実施計画についても引き続き説明をお願いいたします。

事務局； 本日配付した第1次村上市総合計画後期実施計画により説明いたします。項目が多いので、神林地区に関係するところを主に説明させていただきます。

【第1次村上市総合計画後期実施計画について説明】

会長； 説明ありがとうございました。ただ今の説明にご意見はありますか。

委員； 瀬波トンネル先の道路建設はどのようになっていますか。

事務局； 事業主体が県なので詳しくは把握しておりませんが、病院との関係もあり市としましても関心が高いところであります。また村上駅及び駅西を含めた新たな計画の中で示されていくのではないかと思います。

委員； 神林地区を含めた学校の在り方をどうしていくのか、また、スケジュールはどうなっていますか。また地域おこし協力隊とはどんな活動を行うのですか。

事務局； 前教育長の考えは、統合しないということでしたが、少子化の中で統合を考えるということではなく、学校の在り方をとらえていこうという検討が教育委員会内部で始まった段階です。いつまでどのようなことを行うのかということはまだ、決定していません。しかし、耐震はこの検討を待ってということではなく、学校は防災拠点などに必要な施設ですので、耐震事業は行っていきます。

また、地域おこし協力隊は、県外からまちづくりのお手伝いする方に住んでもらって、その地域集落を盛り上げていこうというものです。山北・朝日地区

に導入の予定です。

委員； 桃川牧目線開通は平成28年度を過ぎるのですか。JRとの協議を早く整わせて、国道まで早く開通させ道の駅とつなげてほしい。

事務局； 1年でも早くということで、6月に補正も行いました。市としましても早期の開通に向けて対応をしているところであります。ただJRとの協議には時間がかかります。平成27年度までは国道につなげたいと計画しています。

委員； 埋蔵文化センターは、どこに建設する予定だったのですか。

事務局； 縄文の里の付近に、展示物を見学する施設を予定していました。後期計画以降は再度検討が必要になってきます。

委員； 博物館的又は展示館的なものだったのですか。

事務局； 合併時の計画では、出土品の保管兼展示施設でした。

委員； 生涯学習センターと情報センターは一体的なものですか。機能的に違うのですか。

事務局； 別々の施設です。教育情報センターは広域事務組合の施設を引き継いだものでありますし、生涯学習推進センターは村上中央公民館の機能を持たせようとするものです。

委員； 高速道路の開通に伴って、地域アクセスとその利用について計画を立てて行っていくべきと考えます。

事務局； 高速道路の計画及び建設が市町村合併の時期に重なり、また合併後におきましても、たちどころに朝日まほろばインターまで延び、この計画立てが時期的にできませんでした。この度の延伸を受けて、如何に村上市に降りていただくか大きな課題ですので、庁内で計画を立てているところです。

会長； 報告事項に関する質疑は以上で終了させていただきます。

5 議事

(1) 神林地区紹介マップについて

会長； 議事の(1)神林地区紹介マップについて事務局の説明をお願いします。

事務局； 資料2により、神林地区紹介マップについて説明いたします。

【神林地区紹介マップについて説明】

会長； 説明ありがとうございました。ただ今の説明にご意見はありませんか。

委員； これまでの「どこに何があります」とかというマップではなくて、特産やイベントなど、どこで何をやっているのかを載せたマップが必要と思います。

事務局； そのように時節柄の話題を載せることができるマップとしていきたいと思えます。

委員； 5月に全国スポーツクラブ会議があった際に、神林を紹介するものがなくて困りました。突っ込んだ情報を提供することで、たくさんの人に宣伝することが必要と思います。

事務局； 様々なパターンのマップを考え、そのパターンと載せる情報を地域審議会で検討していただいて、進めていきたいと考えております。

(2) 神林地区地域活性化推進事業について

会 長； それでは、議事(2)の神林地域活性化推進事業について、事務局からの説明をお願いします。

事 務 局； それでは資料を基にご説明します。

【神林地区地域活性化推進事業について説明】

- ・前回の審議会の結果から、意見聴取の対象団体が決定した経緯(資料3)
- ・お幕場・大池・平林城跡の活動状況の調査結果
- ・基本方針について、意見集約の結果を基に提案(資料3-2)

会 長； ご意見、質問はありませんか。

委 員； 前回会議での意見からすると平林地域に偏っているようですが、神納、西神納地域には何かありませんか。

また、祭りについてですが、神林地区には塩谷大祭のほかにも七夕祭りなど祭りがたくさんあります。神林村時代には、それらを集約してビデオ作製や発表会をしたこともあるはずですが、そういうことを復活させても良いのではないかと思います。

私の考えですが、よそに行くのご当地ソングというものがあります。塩谷区にもあります。神林地区でも考えてはどうでしょうか。

委 員； 先ほどの件について、私は、西神納地域のまちづくりに関わっていますが、まちづくりは人・物・金だと思います。物も大事ですが、やはり人が重要だと思います。

今年、西神納地域は8月3日に、パルパークで西神納地域の人がこぞって楽しめる夕涼み会を計画しています。とにかく人づくりをやっていかなければならないと考えています。何をやるにも人が動かなければ活性化はしないと思います。そういう訳で、西神納地域では人づくりを優先して考え、次に物、金という形で動けばよいのではないかと考えています。

そしてまた、継続していくことで交流が芽生えて、地域が活性化していくと考えております。

委 員； 私は、神納地域の特色は平野だと思います。平野と農産物、つまり田んぼをどうやってアピールしていくかということです。例えば、神林地区全体の取り組みとして、都会の人たちに農業体験をしてもらう。あるいは休耕田をうまく活用して、都会の人たちを結び付けていく。今あるものを再発見していくためには、地域でまとまって地域の絆を深めていくことも大切ですが、よその人を呼び込むことによって地域を再発見することができると思います。

塩谷地域はまさにこの例に当てはまり、自分たちで物事を行うことにより、よそから人に来てもらって、来てもらった人から教えられて塩谷自体の価値を再発見しています。こういうことも地域活性化の検討材料としていいのではないのでしょうか。

委 員； 平林城跡についての講演会には、大勢の人が講演を聞きに来ています。

また、平林区では区独自で、不動堂の再建や山道整備を行い、今は多くの人ハイキングに訪れています。やはり、ある程度対象を絞らないと先に進まな

いので、テーマを決めてあるものでやればよいと思います。

神林は豊かなところですが、豊かすぎるために発展が阻害されているのではないのでしょうか。

委員； 私は、この前体験観光の勉強をしてきました。今までの観光というのは、建物があるとか表示があるとかで人が来ていたのですが、その発想を変えて地域の課題を体験させることが観光の対象になるという考え方です。

先ほども意見で出ましたが、外から人が入ってくると地域の人は元気になると思うのです。そういう意味で、発想を変えて地域の課題に視点をあてることが観光にもつながるかもしれないという考え方が観光体験というもので、今流行っています。そういった視点で考えていければ、新しいことも加えていくことが出来るし、人の部分も巻き込んでいけるのではないかと思います。

事務局； 今ほど、様々な意見をいただきました。その意見をまとめるために資料3-2のキーワードに絞って進めていきたいと思います。この事業は50万円のソフト事業で、平成28年度までと区切りがあります。その中で出来ることを地域審議会で話し合ってもらって、個々の意見をまとめ、テーマ作りを行いたいと考えております。具体的な事業の提案は次回に出したいと考えております。

今回は、実施の方針を決めていただきたいと考えております。

委員； 事業費は50万ですか。

事務局； はい、一地区50万のソフト事業です。1回で50万でもいいですし、分けてもいいですし、旧神林地域を盛り上げるイベントを行うソフト事業の発案を審議してもらいたいということです。

地域審議会は、地域の課題に取り組んでいるまちづくり協議会とは別に、神林地域全体のことを話し合ってもらう唯一の場所になります。各地域から集まっていたいただいて旧神林地域を盛り上げるイベントや企画ができないかという提案事業です。

委員； それは、お幕場茶会ではだめでしょうか。

事務局； そのようなアイデア出しから積み上げていただければと思います。お幕場茶会の主催は商工会ですか。

委員； はい、主催は商工会ですが、全体で取り組むとまた違って盛り上がるのではないかと思います。

事務局； そのような意見を出し合って決めていただければと思います。

委員； お幕場茶会のイベントとして人に来てもらう、そのところは長年の継続もあって、非常に盛んになってきていいですね。

ところが、肝心のお幕場が傷んでいます。白砂青松のお幕場と称しているけれど、昔のお幕場ではなくなってきました。昔のお幕場はどういうところだったのか、復元していくようなことも考えていかないと、ただ松林の中でお茶会をやったというだけになると思います。

委員； 今年茶会に訪れた人から、こんなに素晴らしいところはない、日本一だという褒めの言葉をいただきました。神林にこんなにいい所があるのだから、なんとかできないものかということで提案させていただきました。

委員； 私は、もっと良くしていくためには、元の松林を復元していくようにしなければいけないと思います。

委員； 村上は、村上大祭というイベントがあります。神林には、お幕場茶会というイベントで売り出してはどうでしょうか。お金もかからないことですし。

委員； お幕場は官有地ですか。

事務局； 海側が森林管理署、整備されているところは市の所有です。

委員； お幕場茶会は市の側で開催しているのですね。このソフト事業の他に、いろいろな意見が出され、お幕場を整備するハード事業を要望することは可能ですか。

事務局； この事業とは別であれば、要望はできると思います。

委員； 私は、お幕場は綺麗だしイメージもいいし、神林をPRするには素晴らしい素材だと思います。

委員； 高速道路に案内板を設置するとか。地図に載せるとかPRの方法はいろいろあるのではないですか。

委員； やはり、PRするためにはホームページに載せることだと思います。

事務局； さまざまな意見をいただいておりますが、資料で説明しましたとおり地域事業のテーマを決め、そのテーマについての事業を立案して、実施に際しては、これまで活動してきた団体や関係者から協力を仰ぎ、それぞれの活動の成果が発揮できるように連携して計画実施していくという方針でよろしいか決めていただきたいと思います。

そして、この方針と本日いただきました意見を基に、次回に事業を提案させていただきますたいと思います。

会長； ただ今、事務局からの説明のあった方針で、進めていくことでよろしいでしょうか。

一同； 異議なし。

6 その他

会長； その他ということで、事務局何かありますか。

事務局； 今日、ご覧のとおり欠席者が多くなっております。次回は、皆様の日程を伺って調整してから、開催日を決めさせていただきますたいと思います。

会長； みなさん、他にありませんか。

一同； ありません。

副会長； 慎重審議をいただき、ありがとうございました。次回は欠席者のないように宜しく願いいたします。本日はこれで終わります。ありがとうございました。

7 閉会 (15:00)